

**シイタケ菌打ちイベント 実施報告**  
(森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業)

辻本 信一

2月25日(土)、「ならやまベースキャンプ」・「ならやま里山林」におきまして、林野庁交付金事業『森林環境教育・研修活動』の一環として、シイタケ菌打ちイベントを実施いたしました。

参加者は佐保台小学校放課後子供教室の児童22名、幼児6名と保護者19名の47名。

当会からは36名の方がスタッフとして参加、総勢83名が「ならやま」に集いました。



【集合写真】

直前まで不安定な天気が続きましたが、当日は天候に恵まれ最高のイベント日和となりました。

定刻の10時イベント開始。会長挨拶、担当者による作業内容・注意事項説明の後、シイタケ菌打ちが森林資源活用につながり、コナラ植樹が里山保全の活動につながることを子供達にも伝え、楽しく意義のある一日がスタートしました。

午前中二班に別れ、木槌作り・シイタケ菌打ちとコナラの植樹作業を交互に実施しました。



【シイタケ菌打ち】

適度な緊張感を持ってスタッフの言うことをしっかりと聞いてくれました。しかし目の輝きでシイタケが無事大きくなれと祈る子供達の思いがこちらまで伝わってきます。

ヘルメットを着用した子供達が意気揚々と我々が里山に入山。無駄口をたたく子もなく、

適度な緊張感を



【コナラの植樹】

それを見守る保護者の方達も恐らく10年、20年後のお子さんの姿と重ね合わせておられるのでしょうか。お子さん達の生き生きとした姿をとっても満足そうに見守られておりました。

作業場に通じる里山散策路では、「こんな身近に素晴らしい自然があり驚いた」の声、里山の美味しい空気を胸一杯吸いこみ、森林浴を楽しまれておりました。

あっという間に昼食時間、家族で弁当を広げ、自然の中の食事はまた格別、さらに、ならやま名物豚汁が皆さんに振る舞われ、あちらこちらで「美味しい!」「美味しい!」の声。



【ロープ登り】



【丸太渡り】

食事休憩が終わってからも出し物は目白押し。昼からも二班に分れ、各グループで順番に、薪割り機を使つての薪割り作業、冒険心・探検心をくすぐるロープを伝つての急な斜面登り、ならやま里山林内の『遊びの森』では、丸太渡り、ブランコ、木登り・ハシゴ登り、立木の伐採と里山林内の山遊びを心置きなく満喫していただきました。

イベントの最後にはアンケートと引き換えにシイタケホダギと鹿の折り紙のお土産を皆さんに進呈。満足そうな笑顔がはじけました。

スタッフの皆様のご協力を得て今回も素晴らしいイベントとなりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。